

天保十四年（一八四三年）  
湯屋渡世等取締につき請書

（当館所蔵 大曾根小倉正太郎家文書二八）

差上申御請書之事

在方之儀近年湯屋・髮結床・酒食・小間物商ひ・刀研屋・  
拵屋等之類次第二相殖、百姓共便利之筋より自然質素之  
古風を取失ひ、追々奢侈超過いたし風俗ニ拘り候間、  
在中村々ニおゐて右体之渡世致候儀一切不相成、是迄致来り  
候分も此節より六十日を限り不残取払可申候、若其儘ニ  
差置候は嚴重御取計可被成旨、從  
御奉行所御沙汰之趣を以被仰渡承知奉畏候、依之  
御請証文差上申所如件

武州埼玉郡寄場八条村

天保十四卯年七月

組合

村々

関東御取締御出役

中山誠一郎殿